

# 歌い人ごんべ 20周年 記念演奏会

6月22日(日) 14:00開演 13:30開場

カノラホール(岡谷市文化会館) 大ホール

演 目

祈りをこめて ～2017委嘱作品再演～

松下耕, Vytautas Miškinis,

Javier Busto, John August Pamintuan

歌いつがれる日本のうた

「12ヶ月メドレー」岩河智子編曲

(カノラ少年少女合唱団賛助出演)

光を求めて ～松下耕作品セレクション～

静かな雨の夜に、信じる、ヒカリ ほか

指 揮

松下耕・佐原玲子

ピアノ

水戸見弥子・田岡将平

賛助出演

カノラ少年少女合唱団

入場料

一般1,000円 学生500円

(未就学児無料)

プレイガイド

カノラホール 笠原書店 オグチ楽器

後援

長野県合唱連盟 南信合唱連盟 おかや音楽協会 岡谷市教育委員会  
信濃毎日新聞社 (株)長野日报社 市民新聞グループ(7紙) エルシーブイ(株)

※託児が必要な方は事前にお問い合わせください。

先着順で若干名受け付けます。当日のご依頼はご遠慮ください。

主催・お問い合わせ：歌い人ごんべ

Tel. 090-1867-0895 (小室)

<https://www.utaibitogombe.org>



## 合唱 歌い人ごんべ

2005年に、カノラ少年少女合唱団・SK松本ジュニア合唱団の卒団生、信州大学の学生やその卒業生、合唱好きの社会人で結成した合唱団。20代～40代までの合唱に熱い思いをもった団員約30人が県内外各地より集まり、活動している。古典宗教曲から民謡、現代曲まで、様々なジャンルの曲に取り組む。音楽監督として佐原玲子を迎え、合唱の楽しさをより多くの人と共有することを目指して練習に励んでいる。今年で結成20周年を迎えた。



### 指揮 松下耕

1962年東京生まれ。作曲家、合唱指揮者。国立音楽大学作曲学科首席卒業。卒業後、ハンガリーに渡り、合唱指揮法及び作曲法を学ぶ。レマーニ・ヤーノシュ、エルデイ・ペーテル、モハイ・マイクロシュ他に師事。作曲家として生み出している作品は、合唱曲を中心として多岐にわたり、それらの作品は世界各国で広く演奏されており、同じく楽譜も、国内外で出版が相次いでいる。これまでに、国内およびポーランド、中国、台湾において個展が開催された。2005年、合唱音楽における国際的かつ優れた活動が認められ、「ロバート・エドラー合唱音楽賞」をアジア人で初めて受賞した。2023年、国際コダーイ協会より名誉賛同者（Distinguished Patron）に任命される。2023年、トルコ・イスタンブールで開催された世界合唱シンポジウムで、シンポジウム初となる『国際作曲マスタークラス』の講師を務める。2023年、ポーランド宗教音楽研究所より、最優秀宗教音楽家として表彰される。第91回（2024年度）NHK全国学校音楽コンクール高等学校の部課題曲「明日のノート」作曲家。一般社団法人東京国際合唱機構代表理事。耕友会芸術総監督。うたフェスJAPAN、東京国際合唱コンクール総合プロデューサーおよび芸術監督。日本国際合唱作曲コンクール芸術監督。元神戸女学院大学特別客員教授。板橋区観光振興ビジョン2035策定検討委員会委員。



### ピアノ 水戸見弥子

桐朋学園大学音楽学部演奏学科ピアノ専攻卒業。同アンサンブル・ディプロマコース修了。母校の声楽科、二期会オペラ研修所の伴奏員を経て、現在はソロ・声楽・合唱・室内楽で、全国各地でのコンサートや録音、またカーネギーホール等の海外公演にも度々同行し、国内外で活発に演奏活動を行っている。1999年、ヨーロッパで活躍するN.J.ジヴゴヴィッチ作曲「Die Arten des Wassers」（水の種類）の日本初演後は、多くの共演者と新曲初演を担う。東京・春・音楽祭での「パルジファル」「タンホイザー」、都響「第九」「イワン雷帝」等、様々なプロダクションの音楽スタッフを務め、文化庁「本物の舞台体験事業」では、ピアニストとして参加している。



### 指揮 佐原玲子

新潟大学教育学部特別教科教員養成課程音楽科ピアノ専攻卒。10年間岡谷合唱団のピアニストを務めた後、関屋晋氏のもとで合唱のあり方を学び、指揮者として現在に至る。また、1992年以来サイトウキネンフェスティバル（現OMF）におけるオペラの児童合唱の指導、コーラス指導を担当している。現在、川岸女声コーラス、女声コーラスしなの、カノラ少年少女合唱団、コーラスみずべの指揮者、歌い人ごんべの音楽監督、おかや音楽協会副会長を務め、コーラス人口を増やすこと、特に次世代を担う、歌う子どもを育てることをライフワークとして、地域の合唱活動に力を注いでいる。歌い人ごんべには児童合唱から続けて指導を受けている団員も数多くおり、地域の合唱活動に新たな息吹をもたらしている。



### ピアノ 田岡将平

塩尻市出身。信州大学教育学部芸術教育課程音楽教育専攻卒業。2015年9月長野県上田市にてソロリサイタル開催。2023年塩尻市レザンホールにおけるウクライナ国立フィルハーモニー交響楽団「第九」コンサート稽古ピアニストを務める。ピアノを金子琴、渡辺かおる、新谷勝造、中島卓郎の各氏に師事。声楽を茶城由紀子、池田京子、田島達也の各氏に師事。ソロ活動の他、塩尻市、松本市、岡谷市を中心に合唱団ピアニストや合唱指導を務める。また、声楽、器楽など様々なジャンルの演奏家との共演を重ねている。Trio del Saleメンバー。長野県若手芸術家支援事業next登録アーティスト。

